

普通科

学力向上フロンティア校 「みらいハトライ! 福高スクラム」

学力向上フロンティア校に4年連続で指定!
普通科の新しい取組に御注目ください!

読解力の向上を目指して（新聞活用セミナー・小論文模試）

「学ぶ」とは、新しいことを知り、様々な知識を得ることであることはもちろんですが、それ以上に「物事を深く見つめ、考える」ことが本当の意味での学力（学ぶ力、学ぼうとする力）であり、現代社会で求められている力でもあります。

本校では、これらの力を伸ばすことを目的として、1年生から2年生にかけて新聞活用セミナー、2年生から3年生にかけて小論文講演会や小論文模試を実施しています。

2月19日（土）の土曜講座では、朝日新聞社から藤井諭氏、池田将史氏を招いて、1年生全員を対象に第3回新聞活用セミナーを行いました。これまで1年生は、新聞の紙面構成や書き方、天声人語の要約、語彙・読解力検定の受検などに取り組んできました。今回のテーマは小論文です。作文は自分の感想



や意見を述べるものですが、小論文は1つのテーマについて「賛成」意見と「反対」意見をどちらも考える『1人ディベート』のようなものだ、ということでした。様々な社会問題に対して解決策を考えると、すぐに1つの正しい答えが見つかるわけではありません。どのような解決策を提案しても、良いところもあれば悪いところもあります。大切なのは、自分の価値観だけで考えるのではなく、幅広く様々な立場に立って物事を考えることであり、小論文ではこうした様々な意見を踏まえた上で、自分の考えを述べるのが大切だ、と締めくくられました。



2対2でディベート

2年生では、実際に小論文を添削されている先生を講師に招き、小論文講演会を行ってきました。また小論文の書き方や小論文で頻出とされるさまざまな社会問題について学んだ上で、小論文模試にも取り組みました。模試の結果が返却され、添削を受けた同じテーマでもう一度書き直し、添削してもらった小論文では、平均点が8点以上も上昇し、書き方や考え方のコツをつかんだようでした。

2月7日には希望者を対象に、前回とは違ったテーマで第3回的小論文模試を実施し、結果が返却されてきました。第1回的小論文模試の結果に比べ、正しい書き方を意識し、社会問題についてもニュースや新聞に目を通すなど、自分の考えを持つことを常に意識してきたことから、第1回模試に比べ、平均点が5点以上、テーマによっては本校受検者の平均点が、全国平均の11点以上となるようなテーマもありました。次年度、新3年生では、国公立大学の推薦入試やAO入試に向けた講演会や模試を実施する予定です。



